

十二坊（岩根山）トレイルランコースハイキング

実施日 令和2年10月15日（木）

記 高山雅史

林道ゲート（榎橋）をスタート（9:40）し正福寺へ向かって歩く。竹林を抜けて山道に入り八大龍王社（雨乞い）へ向かう。雑木林の道なので以外と涼しい。途中3回ほどの休憩を入れて1時間ほどで山腹の林道に出る。

林道沿いの最初の鉄塔の前の小ピークに八大竜王社の祠がありこの参道を登ってきたことになる。林道を行くと第2の鉄塔があり前に東屋があった。

ここより10分ほどで笠岩、立岩の入口に着く。急登の入口から少し下り5分ほどで立岩に着きこの先に笠岩があった。快晴の下傘型の巨岩の先に湖南市の工業団地から近江八幡まで抜群の展望であった。



再び林道に戻り40分ほどで十二坊（岩根山 405m）頂上に着く。今回はトレイルラン（湖南市）22kmの内8kmのアップダウンの少ないコースを逆回りで笠岩などに寄り道して歩いた。

砂山の頂上は展望も素晴らしく、南の湖南市の阿星山から飯道山、東方に綿向山など鈴鹿山系、さらに北の伊吹山まで見飽きることがなかった。

ここで昼食後南に開けた尾根道をシャクナゲの道の入口から杉林をひたすら下り、岩に囲まれた水の流れる狭い谷筋を飛び石伝いに行く。

着いたところが6世紀後半に造られた岩瀬谷古墳であった。横穴式の石室古墳が3基残っている。

また鎌倉時代の石切り場でもあり石を割る前の加工途中の矢穴石も残っていた。

さらに谷筋を下り巨大な鉄パイプで組まれた堰を越え車道を下って下山口の岩瀬神社の鳥居前に無事到着（14:40）。滑りやすい所もありランコースだけあってかなり厳しかったが冒険心も満足させてくれた楽しい1日でした。

